

事務事業名		公有林整備事業		<input type="checkbox"/> 実施計画登録事業		<input type="checkbox"/> 総合戦略登録事業					
政策体系	政策名	07 自立した行政経営の確立		事業期間		予算科目					
	施策名	31 健全な財政運営の推進				会計 款 項 目 事業					
	基本事業名	01 自主財源の確保と公有財産等の適正管理				01 06 02 04 00					
根拠法令				<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始 年度～) 年度～ <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 【計画期間】 年度～ 年度 ※全体計画欄の総投入量を記入		事務事業区分					
所属	部課名	農林水産部農林課				A 政策事業 B 施設整備 C 施設管理 D 補助金等 E 一般(A～D以外)					
	課長名	菅原 博幸									
	係名	林業係	電話	27-3111							
	担当者	鈴木 林	内線	7126							
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(※期間限定複数年度のみ)					
公有林整備を図るため、国庫補助事業の対象とならない補植等の補助作業を行い、公有林資源の循環、良質材の生産を図る。 主な事業内容は、①補植、②森林保険加入である。 事業費は、施行実施の委託料、保険料等で支出される。						総投入量 (千円)	事業内訳	国庫支出金			
								都道府県支出金			
								地方債			
								その他			
								一般財源			
								事業費計(A)	0		
						正規職員従事人数					
						延べ業務時間					
						人件費計(B)	0				
						トータルコスト(A)+(B)	0				

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		(5) 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
① 手段(主な活動)		名称	
前年度実績(前年度に行った主な活動)		単位	
市有林の適正な維持管理(支障木伐採、森林保険加入等)		ア	補植面積
今年度計画(今年度に計画している主な活動)		イ	森林保険新規・継続加入
補植、森林保険加入。		ウ	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) * 人や自然資源等		(6) 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
国庫補助対象外の人工林。		名称	
		単位	
		カ	市有林1齢級以下(5年生以下)人工林面積
		キ	森林整備面積
		ク	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		(7) 成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
① 補植 : 枯れた苗木を植え替えし、森林環境を良くする。		名称	
② 森林保険加入: 自然災害等を受けた場合に、被害を最小限に食い止める。		単位	
		サ	補植実施率(補植できた面積/補植が必要な面積)
		シ	保険加入面積率(保険加入面積/森林整備面積)
		ス	
④ 結果(基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
財産を有効活用する。			

(2) 総事業費・指標等の推移		年度	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(目標)	30年度(目標)	31年度(目標)	32年度(目標)	
投入量	事業費	国庫支出金	千円						
		都道府県支出金	千円						
		地方債	千円						
		その他	千円						
		一般財源	千円	898	1,944	1,945	2,070	2,070	2,070
		事業費計(A)	千円	898	1,944	1,945	2,070	2,070	2,070
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	350	350	350	350	350	350
		人件費計(B)	千円	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400
		トータルコスト(A)+(B)	千円	2,298	3,344	3,345	3,470	3,470	3,470
⑤活動指標	ア	ha	4.16	4	1.60	3	3	3	
	イ	ha	54.09	100	97.62	100	100	100	
	ウ								
⑥対象指標	カ	ha	4.16	4	1.60	3	3	3	
	キ	ha	54.09	100	97.62	100	100	100	
	ク								
⑦成果指標	サ	%	100	100	100	100	100	100	
	シ	%	100	100	100	100	100	100	
	ス								

事務事業ID	0572	事務事業名	公有林整備事業
--------	------	-------	---------

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？
市民にとって最も身近にある森林の景観と機能の維持向上を目的に事業に取り組むこととした。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？
シカの被害等により枯れた苗木を植え替えたことや吉浜海岸の保安林下刈により、森林の景観及び機能の維持が継続的になされた。
なお、東日本大震災津波の影響により、吉浜海岸の保安林が流出したため、平成23年度以降は保安林下刈は事業廃止となった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？
特になし。

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】 市有林は市の財産であり、市が適正な管理をする必要がある。 森林の適正な管理がなされれば、良質材の生産につながり、素材として高く販売できるので自主財源を増やすことができる。また、採算性の向上による林業の振興、森林の持つ公益的機能の高度発揮が期待できる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】 事業実施場所は市有林であるので、市が事業主体とならなければならない。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】 対象、意図を補植(1齢級以下)、森林保険加入(森林整備面積)に限定しており、適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 事業を継続し、成果の維持を図る。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】 森林が荒廃し、森林の持つ公益的・多面的機能及び市有林の財産価値が低下する。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 毎年度、整備が必要な面積を最低限の事業費で対応している。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補植等は既に委託しており職員の業務時間の短縮はできない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 直接の受益は市であり受益者負担は発生しない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果																					
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) → ③ 終了・廃止・休止	左記(1)の改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																					
(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 現状どおり継続して事業を実施する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		●	×																		
	低下		×	×																		

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
① 現状維持 ② 改革改善(縮小・統合含む) ③ 終了・廃止・休止	現状どおり継続して事業を実施する。